

Technology デジタルの恩恵を全ての人に

非競争領域は業界標準化

商品データ標準化と産業横断レジストリー構想

流通小売業のデジタル化、ロボット活用を促進させるため経済産業省、GS1Japan(流通システム開発センター)、日本小売業協会など関係団体の巻き込みや小売の現場での実例づくりの支援を行う。

こんなお困りごとありませんか？

商品情報の入力や
チェックに多大な
工数を割かれている

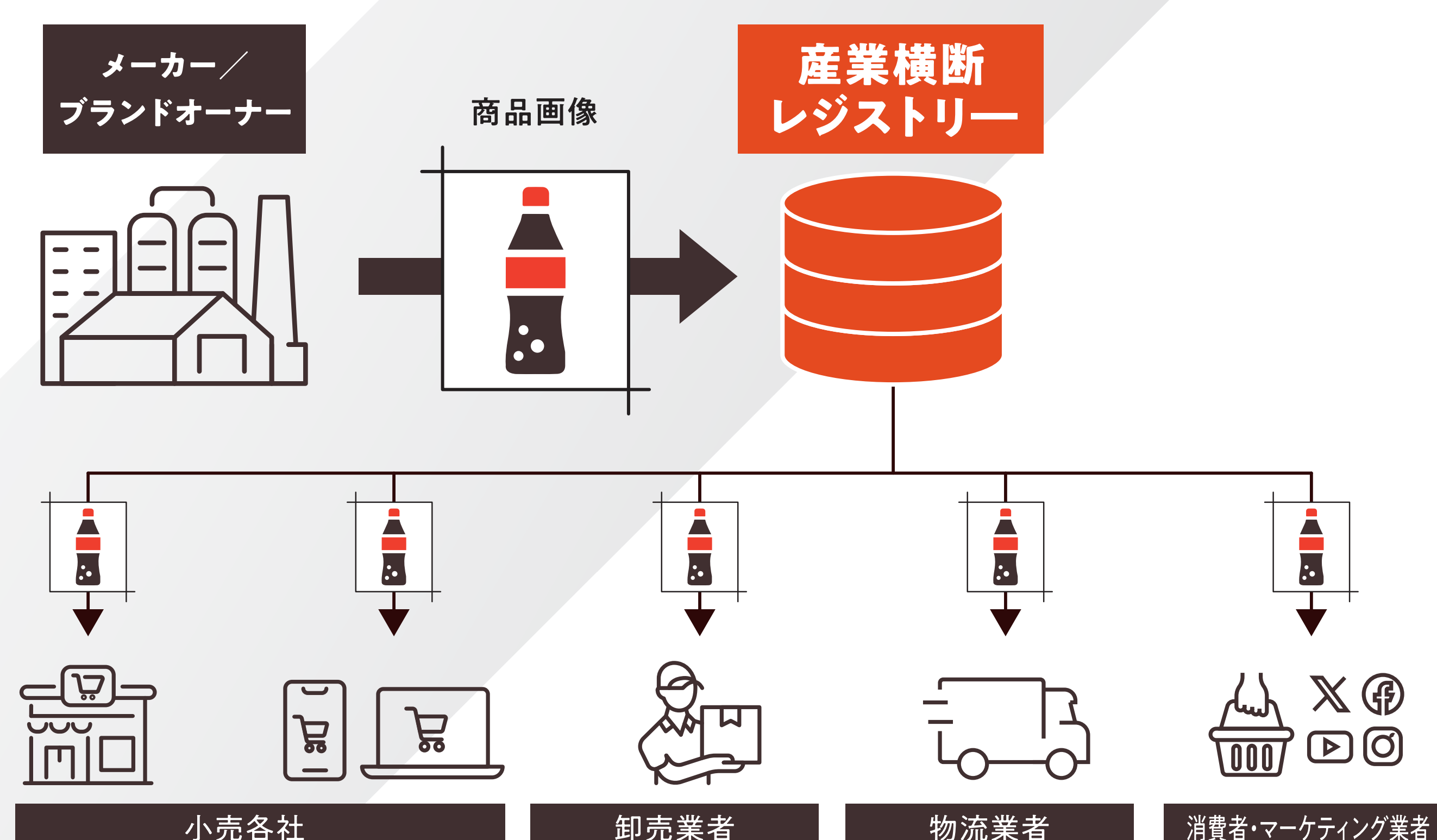
必要なときまでに、
商品情報・写真が
届かない

店舗とネットスーパーの
商品マスターが二重管理状態で、
余計な手間とコストがかかっている

**GS1 Japanはバーコードなどの標準化・規格管理を行う国際機関の日本法人で、
現在、社会のための重要な商品データ基盤の整備を進めています。**

様々なプレイヤーが**GS1 Japan産業横断
レジストリー**経由で正確な商品データを
取得できることにより、非常に大きな効果が
見込まれると期待されています。

- ・商品データの精度向上、取得タイミングの改善による作業軽減
- ・業務現場での商品画像の活用拡大、店舗デジタル化の推進
- ・流通過程での重複業務の削減
- ・正しい情報提供によりお客様満足度の向上



人手不足解消のカギはロボットフレンドリー

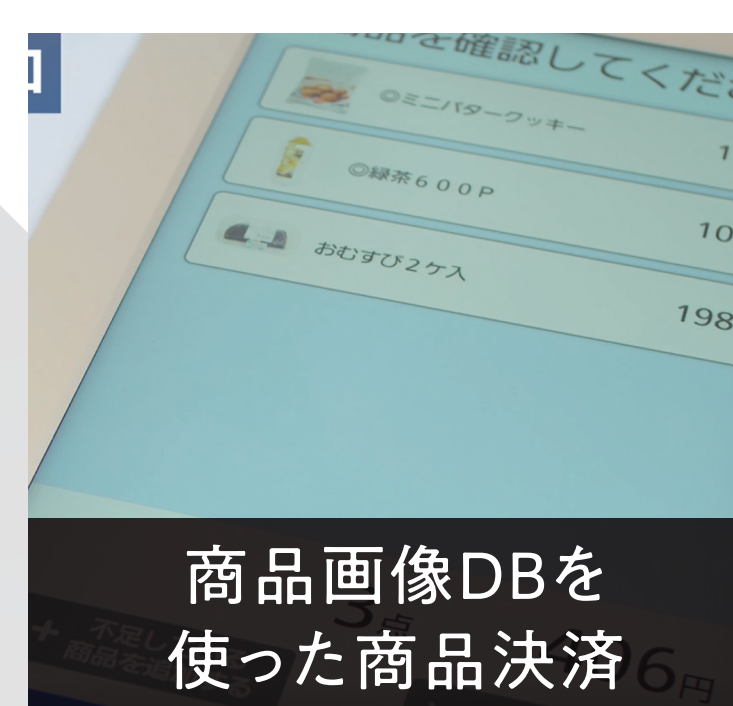
小売店舗の人手不足解消には、
ロボットフレンドリーを軸とした環境整備と、
商品情報データベースの構築・活用が有効な手段です。
今後自動化率を向上させた小売店舗が、
新たな生活の基盤になるでしょう。



ロボットによる
物体認識と仕訳



撮影装置による
商品画像DB作成



商品画像DBを
使った商品決済



商品画像DBを
使った物体検知

※この成果の一部はNEDOの事業です

